



県では、2050年までに県内の温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けて、各種施策を推進しています。一方で、気候変動の影響による被害の防止や軽減を図る「適応策」も求められています。そこで今回は、県民の皆さんが暮らしの中で実践できる具体的な地球温暖化対策と適応策をご紹介します。

■問/県庁環境管理課 ☎058(272)8230

action1 低炭素で快適・便利な新しい生活様式への転換

地球温暖化を引き起こす温室効果ガスの多くを占める二酸化炭素の排出量は、家庭からが約2割で、そのうちの約7割が電力由来のものです。例えば冷蔵庫は、最新の機器と10年前のものを比べると、約40～47%の省エネにつながり、電代が削減できるなど、低炭素な新しい生活様式への転換は、地球に優しい以外にもさまざまなメリットがあります。

[地球環境に優しいライフスタイル例]



action2 気候変動への適応

真夏日や猛暑日、短時間強雨の増加、台風の大型化など、気候変動の影響は、目に見える形で既にあらわれています。こうした変化にあらかじめ備え、社会の仕組みや一人ひとりの生活を変えることを「適応」といいます。持続可能な「清流の国ぎふ」の実現には、適応と温室効果ガスの排出量を減らす努力を、車の両輪のように並行して行っていくことが大切です。



すでに実践してるかも？ 身の回りにある適応

- 食を守るための適応 … 暑さに耐えられるように農作物の品種改良をする/農作物の植える時期を調整する
- 暮らしを守るための適応 … 天気予報などを見て災害に備える/防災マップで避難先を確認する
- 健康を守るための適応 … エアコンを適切に使う/こまめな水分補給



「適応」に関するギモンはこちらへ！ 岐阜県気候変動適応センター



こんな活動をしています

- 気候変動の影響や気候変動への適応に関する情報の収集・整理・分析・提供
- 県内の各分野における気候変動の影響などの調査研究
- シンポジウムやセミナーの開催など、普及啓発活動の推進
- 普及啓発の促進やリスクマネジメントに取り組む人材の育成
- 適応策実施のための技術的支援、提言

センターの相談窓口はこちら ▶▶▶▶▶▶▶▶ ☎058(272)8230

紹介したアクションを起こすことは、持続可能な開発目標「SDGs」の実現にもつながっています